

2026 CQ World-Wide WPX コンテスト

SSB: 3月28 - 29日 CW: 5月30 - 31日

開始: 00:00 UTC 土曜日 終了: 23:59 UTC 日曜日

- I. 目的: 全世界のアマチュア局がコンテスト期間中にできる限りの多くの局、プリフィックスとコンタクトをすること
- II. 運用時間: 48時間. シングルオペレーター局は36時間まで一休憩時間はQSO無しの期間で最低60分であること. マルチオペレーター局は48時間フルに運用できる
- III. 周波数: 1.8, 3.5, 7, 14, 21, 28MHzのみ. 確立されたバンドプランの遵守が強く推奨される
- IV. コンテストナンバー: RS(T) のあとに001を最初のコンタクトとして続きのシリアルナンバー. 注: マルチオペレーター2TXとマルチTXおよびマルチ分散局部門はそれぞれのバンドで別々のシリアルナンバーを使用のこと.
- V. 得点計算:
 - A. 最終得点: QSO得点の合計と異なるプリフィックスの和の乗算により計算される
 - B. QSO得点:
 - (a) 異なる大陸間のコンタクトは3点(28/21/14MHz)または6点(7/3.5/1.8MHz)
 - (b) 同一大陸内で異なるエンティティ間のコンタクトは1点(28/21/14MHz)または2点(7/3.5/1.8MHz)
例外: 北米局にのみ適用--北米局同士のコンタクトは2点(28/21/14MHz)または4点(7/3.5/1.8MHz)
 - (c) 同一エンティティ間のコンタクトは交信したバンドに関係なく1点
 - C. プリフィックスマルチプライヤー:

プリフィックスマルチは有効なプリフィックス数. それぞれのプリフィックスはバンドや何回コンタクトしたかに関わらず1回だけカウントする.

 1. プリフィックスは文字/数字の組み合わせでコールサインの始めの部分のこと. 例: N8, W8, WD8, HG1, HG19, KC2, OE2, OE25, LY1000. 数字や文字、あるいはそれらの順番の違いはすべて違うプリフィックスとカウント. ポータブル表示のプリフィックスは現地のエンティティ、コールエリアで使用が許可されたものであること. ポータブル運用に置いてはポータブル表示がプリフィックスとなる. ポータブル表示に数字がない場合は2文字目のあとにゼロをつけてプリフィックスとする. 例: PA/N8BJQはPAØとカウント. 数字無しのすべてのコールサインは最初の2文字の後にゼロをつけてプリフィックスとする. 例: XEFTJWはXEØとカウント. 海上移動、モバイル運用、/A, /E, /J, /Pあるいはその他のライセンスクラスの表示はプリフィックスにカウントしない.

2. イベント局、記念局や珍しいプリフィックスの局の参加を奨励する。プリフィックスは該当エンティティのライセンス発給機関から付与されたあるいは許可されたものであること。

VI. 参加部門:

シングルオペレータークラシックを除く全ての部門でQSO相手発見ツールを使用できる。

A. シングルオペレーター部門: すべての運用とロギングを一人(1オペレーター)で行うこと。バンドチェンジの回数に制限はない。いかなる瞬間においても送信は一波のみ。

1. シングルオペレーター ハイパワー (オールバンドまたはシングルバンド): 合計出力は**1500w**を超えないこと。

2. シングルオペレーター ローパワー (オールバンドまたはシングルバンド): 合計出力は**100w**を超えないこと。

3. シングルオペレーター: **QRP** (オールバンドまたはシングルバンド): 合計出力は**5w**を超えないこと。

B. シングルオペレーター特別部門: シングルオペレーター参加者はカブリログファイルに**CATEGORY-OVERLAY**と呼ばれる一行を加えることにより以下の部門のうちのひとつにもログを提出できる。この特別部門は結果発表でハイパワーとローパワー(QRP含む)にグループ分けされて別途掲載される。

1. **トライバンダー/シングルエレメント(TB-WIRES)**: コンテスト期間中参加者は一つの**10, 15, 20m**用トライバンダーアンテナ(いかなる形態、アンテナと送信機の間は1本のケーブルのみ)と**40, 80, 160m**用にシングルエレメントのアンテナを使用する。独立した受信アンテナの使用は認められない。

2. **ルーキー(ROOKIE)**: コンテスト開催日に参加者はアマチュア無線の免許を最初に受けてから**3年以内**であること。参加者が最初に免許を受けた日付をログの**SOAPBOX**に記入すること。以前にルーキーで入賞したことがある参加者はこの部門での盾の受賞対象とはならない。

3. **クラシックオペレーター(CLASSIC)**: 参加者は一台の無線機のみを使用、**48時間**中の**24時間**まで運用できる。休憩時間はQSOが記録されていない**60分**を最低とする。**24時間**以上オペレートした場合は最初の**24時間**のQSOがクラシック部門の得点計算に使われる。いかなるQSO相手発見ツールを使わない。(ルールIX.B参照) 無線機は送信中は受信できない仕様であること。

4. **若者(YOUTH)**: コンテストスタート時点で**25歳**以下の参加者。SOAPBOX欄に生年月日を明記のこと。

C. マルチオペレーター部門(オールバンドのみ): コンテスト期間中最終スコアに寄与する運用を二人以上のオペレーターで行える。送信電波の数または運用値点数によって以下のなかから部門を選択する。

1. シングル**TX(MULTI-ONE)**: いかなる瞬間においても一波のみの送信が許される. バンド切り替えは毎時(00分から59分)10回までに制限される. 例えば20mから40mに移りそのあと20mに戻った場合は2回とカウントする. すべての運用で一つの続き番号を使用すること.

a. ハイパワー: 送信波の合計出力は1500Wを超えないこと

b. ローパワー: 送信波の合計出力は100Wを超えないこと

2. **2TX(MULTI-TWO)**: いかなる瞬間において異なるバンドで最大2波までの送信が許される. どちらの送信機もすべての局とコンタクトできる. どちらの送信機でのQSOかに関わらず同一局とのコンタクトは1バンド1回のみ. ログにどちらの送信機でのコンタクトしたか明記すること(CQ主催コンテストカブリログの81桁目). それぞれの送信機は毎時(00分から59分)8回までバンド切り替えができる. 異なるバンドにおいてそれぞれの続き番号を使用すること. それぞれの送信波の合計出力は1500Wを超えないこと.

3. マルチ**TX(MULTI-UNLIMITED)**: いかなる場合も一つのバンドで一つの送信波、最大で6送信波が許される. 6バンド同時運用できる. 異なるバンドにおいてそれぞれの続き番号を使用すること. それぞれの送信波の合計出力は1500Wを超えないこと.

4. マルチ**TX**分散ロケーション(**MULTI-DISTRIBUTED**): 別々のロケーションからいかなる場合も一つのバンドで一つの送信波、最大で6送信波が許される. 全ての機器(送信機、受信機、アンプ、アンテナ等)およびリモートコントロール機器は同一DXCCエンティティ、同一CQゾーン内に置かれていること. 6バンド同時運用できる. 異なるバンドにおいてそれぞれの続き番号を使用すること. それぞれの送信波の合計出力は1500Wを超えないこと. カブリログのヘッダーの記載は以下のようにすること. **CATEGORY-OPERATOR: MULTI-OP, CATEGORY-STATION: DISTRIBUTED**. ルールX.EおよびX.Fはこの部門には適用されない.

D. チェックログ: ログ審査時の参考のために提出されるログ. 結果発表では得点、順位が存在せず、ログは公開されない.

VII. アワード: シングルバンドのログはシングルバンドのアワードのみ対象となる.

(a) 楯はいくつかの対象部門でのトップスコアに対して与えられる. 楯の対象部門とスポンサーのリストは <www.cqwp.com/plaques.htm> を参照.

参加1局に対して1つの楯のみ受賞対象となる. 全世界の楯の受賞者は大陸やエンティティなどの楯の対象とはならない. これらの楯はその部門でのエントリー数が十分であれば次点者に与えられる.

(b) 賞状はログを締め切り前に提出した参加者全員に電子形式でダウンロードによる取得が可能.

VIII. クラブコンペティション: クラブスコアはメンバーから提出されたログのスコアの合計で競う. 2つのクラブコンペティションがある.

A. USAクラブ: クラブの中心から半径250マイル内に居住するメンバーからのスコアに限定される.

B. DXクラブ: 同一DXCC内、またはクラブの中心から半径400km内に居住するメンバーからのスコアに限定される。

C. 一般ルール

1. クラブはローカルグループであって全国組織(例: ARRLやDARC)ではないこと
2. シングルオペレーターは一つのクラブにのみ得点を寄与できる。マルチオペレーターのスコアは参加しているオペレーターの数に応じて複数のクラブに比例配分できる。クラブログにクラブ名をフルネームで記載のこと(マルチオペレーターの場合は各クラブへの配分も)。
3. クラブスコアに順位が掲載されるためには最低4つのログが提出されていることが必要。チェックログはこの最低ログ数にはカウントされない。
4. 居住の定義: 永住、あるいは法的に継続して、住む家。
5. クラブメンバーはDXペディションのスコアを所属するクラブに貢献できる。

IX. 用語の定義:

1. 参加局の所在地: すべての送信機、受信機、アンプ、アンテナが置かれている場所。すべての送信機、受信機、アンプは直径500mの円内に位置していること。アンテナはRF送信ケーブルで送信機、受信機、アンプに接続されていること。
2. QSO相手発見ツール: コールサインもしくはマルチプライヤーをオペレーターに知らせるあらゆるテクノロジー。これには、CW解読器、DXスポットウェブサイト(例: DX Summit)、ローカルもしくはリモート形態での周波数とコールサインデコード技術(例: CWスキマーやリバーズビーネットワーク)、あるいは他の個人を介しての運用のアレンジメントなどが含まれるがこれに限らない。

X. すべての部門に適用されるルール:

- A. 参加者は最終スコアに影響を与えるすべての行動を、該当参加部門で定められたルール内で行うこと。
- B. 複数の参加には違うコールサインを使用のこと。最終スコアに影響する行為には該当コールサインのみの使用が許される。
- C. いかなるバンドでも該当参加部門の制限出力電力を超えないこと。どのバンドにおいても合計出力電力は使用しているアンプの出力端子で計測する。
- D. セルフスポッティングやスポットを依頼する行為は禁止。
- E. すべてのオペレーションは一つのロケーションで行われること。リモート運用は、すべてのアンテナ、送信機、受信機がひとつの所在地に収まっている場合にのみ許される。すべてのリモート運用局は、局免許、オペレーター免許、および該当参加部門のルール

に従うこと. コールサインは、運用地の免許発給機関から割り当てられた、または許可されたものを使用すること.

F. 局所在地外に位置するリモート受信機の使用は禁止.

G. いかなる瞬間も一つのバンドで一波のみの送信が許される.

H. 同一バンドにおける二つ以上の周波数を使った交互CQは禁止.

I. すべてのQSO依頼、呼び出しに対する返答、コールサインとナンバーを受信する行為はコンテスト期間中にコンテスト周波数、モードを使って行うこと.

J. コンテスト終了後に、データベースや録音、電子メールまたはその他の手段を使って交信を確認したり、コールサインやナンバーを修正することは禁止.

K. ログに記録されたコールサインはQSO中にオンエア上で確認したものと一致すること.

L. ITU Region 1 参加者: 40mバンドでSSBコンテストで7200KHzより上の周波数での送信は禁止.

M. ITU Region 1 参加者: 1810KHzより下の周波数での送信波禁止.

N. 以下に掲げる動作は常に人間が行うこと. 1) 受信または送信周波数を変える, 2) ランしている局をコールする, 3) QSOを記録する. 自動システムやロボットを使ってこれらの動作をすることは禁止.

XI. ログ提出方法: 電子ログでの提出が義務づけられる.

A. ログは以下の項目が表示されていること: 正確な時刻をUTCで、周波数(またはバンド)、コールサイン、送信したナンバー、受信したナンバー. これらの表記のないログはチェックログ扱いとなる. 交信成立した時点でログに記録すること. 参加局でワールドまたは大陸のアワードを狙う者は、すべての交信について正確な周波数を記載することが義務付けられる.

B. シングルバンド参加者はコンテスト期間中の他バンドを含むすべてのコンタクトを記載すること. カブリロまたはサマリー上に明記された参加バンドのコンタクトのみが得点計算に用いられる. 一つのバンドのみのログはシングルバンド部門での参加と見なされる.

C. カブリロ形式がログの標準形式である. カブリロヘッダーについてはWPXコンテストウェブサイト <www.cqwp.com/cabrillo.htm> を参照のこと. ヘッダー部分の表記の間違いは他の部門へのエントリー替えやチェックログの扱いになるので注意. 注: 米国局はカブリロヘッダーで運用地点のARRLセクションを表記すること (例 LOCATION: OH) マルチTX分散ロケーション(MULTI-DISTRIBUTED)部門のカブリロヘッダーについてはルールVI.C.4を参照のこと.

D. Web ページからのアップロードでのログ提出のみ受け付ける。CQ WPX ウェブサイト <www.cpwp.com/logcheck/> から行う。提出されたログにはすべてemailで受領確認通知される。提出ログリストはCQ WPX ウェブサイト <www.cqwp.com> で確認できる。

E. カブリロ以外の形式で電子ログを提出される方へ: カブリロ形式のログが提出できない場合はWPXコンテストディレクターに他の形式での提出について相談のこと。

F. ログ提出確認: すべての提出されたログに対して、電子メールで受領確認が送付される。提出ログリストは、www.cqwp.com で閲覧できる。

XII. ログ締め切り:

A. ログ提出はコンテスト終了後48時間以内: SSBログは2026年3月31日 2359UTC、CWログは2026年6月2日 2359UTC。ログを締め切り後に再提出した場合は締め切り後に提出されたと思なされる。

B. ログ締め切りの延長申請は電子メールで <director@cqwp.com>。延長申請には正当な理由が示されて、かつ締め切り日前に受領されていなければならない。ログ締め切り延長はコンテストディレクターからの確認をもって認められる。

C. 締め切り後に提出されたログは、結果に掲載されるが、アワードの対象とならない。

XIII. 判定:

CQ WW DX コンテストコミッティがログ審査を行う。コンテスト参加者にはルールを守り紳士的なアマチュア無線運用が期待される。コンテストルールの違反やスポーツマンらしくない行為に対してはコミッティの制裁措置がとられる。

A. スポーツマンらしくない行為: 以下に挙げる行為が該当するが、これらに限らない:

1. コンテスト期間中に、電話、インターネット、インスタントメッセージ、チャットルーム、IP電話、ソーシャルメディアやウェブサイトなどといった、アマチュア無線以外の手段で、QSOをアレンジしたり確認する行為。
2. 免許された周波数外での送信。
3. バンドチェンジや休憩時間のルールをクリアするためにログに記載された時刻を修正する行為。
4. 過度に確認できないQSOやマルチプレイヤーをログに記載している場合。

5. 送信波の幅が異様に広い場合(例., スプラッター, キークリック) や他のバンドへの高調波が存在する場合.

6. パイルアップをさばいている際に、自局のコールサインを送出せずに3局以上QSOすること.

B. ルール違反に対する処置: ルール違反に対してはコミッティの裁量で参加者は失格となることがある.

1. 失格: 該当局のコールサインはコンテスト結果の最後にリストアップされて、アワードの対象外となる.
2. コミッティの決定はログ提出時に提供された電子メールアドレスに通知される. 通知を受けた者はコンテストディレクターに対して通知を受けてから5日間、コミッティの決定に対してアピールすることができる. アピール期間終了後に決定は最終となる.
3. 参加者はログ締め切りから30日以内であれば無条件にログ提出を取り下げることができる. コンテストディレクターに詳細を照会のこと.
4. コミッティはログに記載された内容、または他の情報に基づき参加者の参加部門を変更する権利を保有する.

C. ログ審査: 提出されたログはソフトウェアとコミッティメンバーが審査する.

1. 重複交信は得点計算から除外されるがペナルティは課せられない.
2. コンテストナンバーを間違えてコピーした交信は得点計算から除外されるがペナルティは課せられない.
3. コールサインを間違えてコピーした交信、または相手方のログに該当する交信が見当たらない交信は、得点計算から除外され、該当交信得点の2倍のペナルティが課される.
4. マルチオペレーター参加局でバンドチェンジルールに違反する交信は得点計算より除外されるが、ペナルティは課せられない.

D. 無線局情報: 参加者はコンテストコミッティから要請があれば以下の情報を提供することに同意すること.

1. 無線局の設備、アンテナ、アンプ、スイッチングシステム等の詳細および写真

XIV. 宣誓:

CQ WW DXコンテストのログを提出することにより、また、CQ WW DXコンテストコミッティのログ審査にかかる努力を考慮して、参加者は以下の各項目を無条件に表現を変えることなく同意する: 1) コンテストルールを読み、理解し、従った, 2) アマチュア局所在地における法律、規制に従って運用した, 3) ログの公開に同意する 4) コミッティの失格や他の制裁措置の決定は公式なもので最終であることを受け入れる. もし参加者が前述のすべての項目に同意したくない、あるいは同意できない場合は、チェックログとしてログを提出し、競技に参加すべきではない.

WPXコンテストに関する質問はemailでWPXコンテストディレクター、director@cqwp.com へ.

この翻訳はJAコンテスト界への便宜を提供する目的で作成されています. オリジナルの英語版があくまでも公式なものです.

Translation by Kazunori Watanabe, M0CFW/JK3GAD